

活力あふれる 住みよい長崎!

長崎市議会議員



# 井上重久 No.30 だより

平成25年11月 発行責任者 井上 重久 編集責任者 梅本 一由 長崎市水の浦町1-1 TEL095-861-6032



長崎くんち・船大工町「川船」庭先回り (平成25年10月7日 長崎駅前かめ広場)



9月17日 長崎市議会「全員協議会」を開催!

**「明治日本の産業革命遺産」 推薦決定!**

長崎の秋の風物詩「長崎くんち」も、シャガリの音とともに閉幕しました。各地域では、神社の「郷くんち(秋季大祭)」も執り行われ、五穀豊穡・地域の繁栄や安全祈願等、氏神様に対する感謝の気持ちを込めた、神事・奉納踊りなど諸行事が行われています。皆様方におかれましては、益々ご健勝にてご活躍の事と存じます。

長崎市議会は、9月17日に「明治日本の産業革命遺産 九州・山口と関連地域」が、本年度ユネスコへの推薦資

産決定に伴い、急きよ9月18日に長崎市議会「全員協議会」を開催しました。

田上市長より「産業革命遺産」は、19世紀後半から20世紀初頭にかけて、日本の重工業が急速に産業化を進め、極めて短期間に産業国家の礎を築いたことが、歴史的・技術的・文化的価値の高い事象であることに「顕著で普遍的価値」があるとされ、8県28の資産(長崎県は8資産)で構成されている。

最終的な選定理由は、日本が「ものづくり大国」となる基礎をつくった歴史を物語るもの、釜石市の資産を含み復興支援に大きく貢献するもの、稼働

## 長崎エリアの産業遺産を調査!

「産業革命遺産」の推薦決定に伴い、市民クラブは、さる10月15日長崎エリア内にある構成資産の8施設を現地調査しました。日本最初の蒸気機関を動力とする曳揚げ装置が設置された「小菅修船場跡」、大正以降高層住宅が建設され最盛期は5,000人超が住んだ「軍艦島(端島)」、現在も稼働している「第三船渠」「ジャイアント・カンチレバークレーン」など、近代産業の礎を築いた資産は長崎の宝(財産)である事を再認識しました。長崎の宝を、日本・世界の宝へ、是非実現したいものです。関係者及び皆様方のご指導・ご鞭撻をよろしくお願ひします。

長崎市議会議員 井上 重久



被爆68周年長崎原爆犠牲者慰霊平和祈念式典 (平成25年8月9日、平和公園)

長崎しおかぜ総文祭開幕 (平成25年7月31日、水辺の森公園)

福田地区第18回夏祭り (平成25年7月20日、長崎サンセットマリーナ)

第16回市民体育・レクリエーション祭 (平成25年10月14日、かきどまり陸上競技場)

第32回長崎さかな祭り (平成25年10月13日、長崎魚市場内)

三菱関連労連ファミリーフェスタ2013 (平成25年9月22日、結の浜マリナーパーク)

## 市民クラブ平成26年度政策要求!

市民クラブは10月21日、中・長期的視点に立ち、新規・継続見直し要求も含め93項目の政策提言を取りまとめ、田上市長に対し「平成26年度政策要求」を行いました。また、「平成26年度予算で取り組むべき重点課題」24項目について、市長・担当部局に対しその実現を図られるよう強く要請しました。(具体的には井上重久ホームページをご参照下さい)

### 主な要求内容

- ◇(仮称)長崎MICEセンター整備検討については、施設の民設・民営の可能性、地権者との協議、財源確保等検討されているが、調査結果・施設整備の可否を適宜報告すること。
- ◇国際クルーズ船、世界新三大夜景、世界遺産候補の構成資産等を活かした観光振興策の充実を図ること。
- ◇「長崎がんばらんば国体」に向けて、リハ・サル大会での課題や不具合点の是正や宿泊施設、交通アクセス、ボランティア要員の確保、機運醸成等、環境整備に万全を期すこと。
- ◇「明治日本の産業革命遺産 九州・山口と関連地域」がユネスコへの推薦決定に伴い、稼働資産の保全、端島(軍艦島)の国史跡指定等、諸課題の解決に向け万全を期し、推進体制を強化すること。
- ◇県営バス一部路線廃止等による、東長崎地区の住民の足確保については、地元の声を十分に把握し万全を期すこと。 など



## 編集後記

▼国際オリンピック委員会(IOC)は、2020年夏季五輪・パラリンピックの開催都市に「東京」を決定した。東京では、1964年以來56年ぶり2回目の開催となる。東京都・スポーツ界、国・経済界等、早くから招致活動に関わったチーム日本の結束力の賜物と思われる。7年後、世界最大のスポーツの祭典を「東京」で迎えられる事は、大きな夢・希望、幅広い分野に良い影響を与えるものと期待される。来年の「長崎がんばらんば国体2014」での活躍を期待しつつ、県内のアスリートからも日本代表選手として東京で活躍してほしい。

▼9月定例議会は、9月6日に本会議冒頭に政府が国連教育科学文化機関(ユネスコ)に本年度推薦する世界遺産候補について、「長崎の教会群とキリスト教関連遺産」を選ぶよう、国に求める意見書を全会一致で可決したこと。9月10日長崎署に逮捕された「職員の不祥事について」市長から行政報告を受けたこと。「明治日本の産業革命遺産 九州・山口と関連地域」が、本年度ユネスコへ推薦されること正式に決定され、9月18日に長崎市議会「全員協議会」を開催したことなど、急きよ3回目の臨時の議会運営委員会を開催し、目まぐるしい議会運営となりました。全員協議会では、議員を代表しての質疑を行ない、貴重な経験をさせて頂きました。

ご相談は お気軽に!

長崎市議会議員 井上 重久

自 宅 長崎市大浜町408 ☎ 865-3553  
生活相談室 長崎市水の浦町1-1 ☎ 861-1985  
http://inoueshigehisa.net/



平成25年第3回定例会(9月議会)開催!

# 補正総額約7億7,938万円(特別会計含む)、26の議案を可決・同意!



長崎市議会平成25年第3回定例会(9月議会)は、9月2日(月)に開会し9月20日(金)までの19日間の日程で開催されました。今議会の補正予算は、野母崎高浜海岸交流施設建設に係る事業費等一般会計補正予算(7億112万9千円)、特別会計補正予算(7,825万1千円)、の総額7億7,938万円の補正予算が上程されました。条例改正では、長崎市野母崎高浜海岸交流施設を設置する条例、原子爆弾の放射線による人体への影響に関する研究事項を調査するため付属機関を設置する条例の一部改正など26議案を原案通り可決・同意しました。

議員提案の時津・長与両町と定住自立圏形成協定を締結するための条例改正では、平成の大合併で長崎市に編入合併した旧7町への支援策を「十分に行われている」とは言い難い、「定住自立圏構想を推進しながらも今後とも合併地域の振興を最優先すべき」と求める付帯決議を付けました。

また、地方税財源の充実確保を求める意見書について、合併算定終了後の新たな財政支援措置を求める意見書等については全会一致で可決しました。さらに、平成24年度各会計決算議案15件が閉会中の各常任委員会に付託されました。

## 補正予算の主な内容

- ◆高齢者福祉施設整備事業費補助金 小規模多機能型居宅介護事業所 ……6,000万円
- ◆地方独立行政法人長崎市立病院機構費 運営費補助金 ……8,168万2千円
- ◆ながさき海洋・環境産業雇用創造プロジェクト推進費 ……156万6千円
- ◆稲佐山山頂送迎バス運行費 ……805万6千円
- ◆長崎駅周辺エリアデザイン検討費 ……1,527万円
- ◆公園施設整備事業費 長崎市総合運動公園 ……9,900万円
- ◆高齢者施設開設準備費補助金 ……2,306万4千円
- ◆公園施設整備事業費 稲佐山公園展望台 ……3,200万円
- ◆教材整備費 ……1億600万円
- ◆環境対策施設整備事業費 公害防止測定器整備 ……960万円

## 環境経済委員会報告(要旨) 9月11日~13日

- ◆野母崎地区高浜海岸施設整備 ……1億800万円
- 野母崎高浜海岸交流施設建設に係る経費
- ・総事業費…2億7千万円
- ・工期…平成25年11月~平成26年6月
- ・供用開始…平成26年7月予定
- ◆林道開設事業費 権現線 ……2,900万円
- 船石町から中里町に至る林道を開設し、林産物の搬出及び利用区域内の森林施業の効率化を図る。
- ◆生活排水事業特別会計繰出金(漁業集落排水) ……811万円
- ・漁業集落排水使用料収入の減収見込みに伴う繰出金の増額(573万7千円)
- ・過年度過誤納還付金(237万3千円)
- ◆野母崎海の健康村(温泉設備整備) ……4,440万円
- 温泉施設の供用に必要な安定した湯量確保、再加熱に必要な燃料代の縮減のため、新たに温泉井戸1本を掘削する。
- 総事業費…1億4,800万円
- ◆出島復元整備事業費
- 出島表門橋 ……1,200万円
- 出島表門橋の架橋及び対岸の中島川公園と一体的な周辺整備のため、基本設計・実施設計の業務委託を行う。
- 事業期間H25~H27



平成28年10月完成予定の出島復元事業の完成予想図

## 「代表質問(要旨)」



日本初の蒸気機関を動力とする曳揚げ装置が設置された「小菅修船場跡」

## 明治日本の産業革命遺産 九州・山口と関連地域

**質問** 「産業革命遺産」の課題解決に向けての取り組みや今後のスケジュールは?

**回答** 長崎エリアには、民間所有の4つの稼働資産及び軍艦島など4つの非稼働資産がある。稼働資産は、役割が果たされた後の維持管理に係る役割分担が大きな課題で、今後、所有者・国・地元自治体で協議・調整を進める。特に、軍艦島の保存管理の在り方は島全体を史跡として管理する方

向が示され、多額の財政負担が必要であり、財源措置を含め国・長崎県と十分協議しながら検討を進める。推薦書の正式版を来年1月末までに提出、イコモスによる現地調査が来年夏頃に行われる。

**質問** 「産業革命遺産」の登録に向けた関係自治体との連携は?

**回答** 関係各市の首長を委員とする「九州・山口の近代化産業遺産群」世界遺産登録推進協議会を設置し、関係自治体の担当課長等で組織する幹事会等で共通課題の解決に関する協議を進めている。構成資産が広範囲にわたる事から、どの資産が欠けても十分な価値証明が出来なくなる性質を持つっており、関係自治体とは今まで通り連携して作業を進める。

**質問** 「教会群」の登録に向けた今後の取り組み方針は?

**回答** 世界に誇る高い価値を有し、将来にわたりその資産を継続的に守っていくことも重要な課題である。多くの来

訪者の受入体制など、特に地域の皆様と今後一層連携を図り課題の解決に取り組む。今後とも世界遺産への推薦を目指して醸成してきた機運を持続しながら全力を尽くす。



炭鉱閉山から40年の軍艦島(端島)、国史跡指定の準備が進む

**再質問** 稼働資産の保全や軍艦島の史跡に関する多額の財政負担及び推進体制は?

**回答** 稼働資産の保全は、生産活動に利用されている間は所有者で維持管理されるが、稼働終了後は所有者・国・地元自治体が役割分担(経費負担)しながら維持管理する。軍艦島(端島)は、炭鉱閉山から40年放置され劣化し、保

存管理を行なうにあたり、多額の財政負担が必要となるので、文化財保護に関する補助やその他の補助制度、有利な起債などの活用を視野に入れ、国・県とも十分協議しながら検討を進める。推進体制は、世界遺産推進室が中心となり、必要に応じて稼働資産の保全方策は景観部門、軍艦島の史跡指定は文化財部門など専門の部局として連携して作業を進めてきたが、タイトなスケジュールのなかで全庁的な協力体制を組みながら推進する。

**再質問** 多額の経費が必要となる軍艦島の保存管理が、今の財政状況でやれるのか?

**回答** 保存管理の方法によって財政負担に相当の幅があり、複数のパターンでの概算費用は、護岸と生産施設の整備のみで最も安い11億円から居住施設の復元整備までの最大144億円と試算されている。国や県にも応分の負担を求め、将来にわたり持続的に保存管理できるかという財政的な面も見極め保存管理方針を決定する。

## 要望

長崎の資産の価値が認められたことは意義があり誇りでもありますが、2つの大切な資産の世界遺産登録に向けては、市民の皆さん、関係者の皆様のご理解を得ながら、また、国や関係する自治体、長崎県ともしっかりと連携を図り、平成27年に「明治日本の産業革命遺産 九州・山口と関連地域」を、28年に「長崎の教会群とキリスト教関連遺産」への登録が実現するようしっかりと取り組んでいただくことを強く要望する。



日本で初めて設置された電動起重機、ジャイアント・カンチレバークレーン(三菱長崎造船所)